

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和5年 3月 10日

事業所名 放課後等デイサービス あすなろ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・ 構造化を行いスペースの有効利用に配慮している ・ コロナ感染予防の観点から対応している	
	2	職員の配置数は適切である	○		法廷上の人員と加配人員を配置している	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		子どもの動線をわかりやすくし、構造化を心掛けている	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		・ 午前中にミーティングを行ったり、定期的な研修を行っている ・ 目標設定を明示している	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・ 保護者へのアンケート調査を行っている ・ 評価項目一つ一つについての対応を検討し保護者に配布した	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・ ホームページに公開している ・ 回答をまとめて文章化し、保護者に配布している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		外部評価委員による外部評価制度を設定し、評価結果について相談している	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・ 毎月1回の研修日を設け確実に実施している ・ 職員が研修についての感想・評価を毎回行い記録している	
適切な支援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・ 担当者会、相談員との連携によりモニタリングを実施している ・ 必要に応じて保護者と連絡を取りニーズの聞き取りを行っている	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		保護者の同意を得て各種検査結果を閲覧させていただき、計画作成に活用している	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
の提供	11	活動プログラムの立案をチームで行っている		○		児童発達管理責任者が立案し、職員に周知し意見を集約して修正する方法をとっているが、立案の段階からチームで取り組む方法を検討していく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		個別支援計画に則り、目標達成に向けて種々のプログラムを用意している	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		休日・長期休暇の課題を把握し、ルーティーンを決めて活動を企画している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成している	○		・個別活動、集団活動を適宜組み合わせている ・外遊び、リトミックなどの集団活動を企画している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	△			・打合わせは必ず行っている ・シフトの違いにより全員で打合わせができない場合は、打合わせ内容を所定の場所に掲示して必ず閲覧するようにしている
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	△			・支援終了後に、送迎のために職員が集まることは困難であるため、翌日の打ち合わせで気づいたことを話し合い改善することになっている
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・記録ノートに必ず記入し検証を行っている ・連絡帳のコピーを参考に検証を行っている	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		相談支援専門員によるモニタリングの際に見直しを行っている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	○		児童の支援、保護者支援、共生社会への参画の視点から複合的に支援計画を立案している	
関係機関や	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	△			・これまでは、全ての会議に児童発達管理責任者が参加してきたが、他の職員も会議に参加できるとよいと考えている
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		所定の場所に、連絡や計画変更を必ず掲示し、全員が閲覧するようにしている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		受け入れを行っていない（看護師等の採用予定がない）
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	△			次年度利用の児童から、就学前の事業所との情報共有の場を設定することになっている

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者との連携	24		○		事業所からの要請があった場合は、記録を開示したり、情報提供に応じる準備がある
	25	△		担当者会議の場を活用して助言を受けるようにしている	
	26		○		放課後の2時間程度の中で、意図的に交流会を開催することは困難であるが、公園遊び等の機会を活用し自然な交流ができるよう企画したい
	27		○		・参加する方法が分からない ・機会の提供や周知を希望している
	28	△			・必要に応じて来所していただき面談することがある ・面談することは難しい現状（仕事を休めない等）があるが、連絡帳、ホームページ、電話、メール、ラインによる情報共有に努力している
29		○		必要としていない保護者が大半であるが、ニーズがある場合はペアレントトレーニングを実施してもよいと考えている	
保護者への説明責任等	30	○		・契約の際に丁寧に説明している ・施設内の見えやすい場に設置し、自由に閲覧できることを周知している	
	31	○		・必要に応じて行っている ・電話相談が多いが、場合によっては面談の場を設定している	
	32		○		・保護者が希望していない家庭も多い ・保護者会の開催の可能性や方法について後日、聞き取り調査を行い実施できるよう努力する
	33	○		・苦情処理の体制は整備している ・これまで苦情処理を行う事例がなかったが、迅速かつ丁寧に対応する準備がある	
34	○		・「あすなる便り」として、毎月1回会報誌を作成・配布している		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	35	個人情報に十分注意している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・契約の際、個人情報の開示についての意向を丁寧に聞き取っている ・毎年、年度当初に情報開示についての意向を聞き取る予定 ・職員会で個人情報に関する研修を行い注意喚起を行っている 	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・職員の専門性の向上に関する研修を定期的に行うと同時に、子どもや保護者の特性については、職員間で情報共有している 	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民へ、施設の概要については説明しているが、招待するなどの行事計画はない ・必要に応じて計画することを検討してのよいと考えている
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・各マニュアルは完備している ・フロアにマニュアルを常時設置しており、緊急体制は図式化して掲示している ・保護者には周知しており、マニュアルの閲覧が自由にできる 	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に避難訓練を行っている ・非常時持ち出し備品の整備を定期的に行っている 	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		<ul style="list-style-type: none"> ・年間2回の研修会を実施している ・毎月の手入れ定例会議の際に、虐待防止委員会を開催している 	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・どのような状況で身体拘束が必要かどうかについては、子どものカンファレンスの際に毎回話し合うようにしているが、現在のところ事例はない 	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		<ul style="list-style-type: none"> アレルギーの有無については、契約時に綿密に聞き取り厳守している 	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット報告を積み重ねる習慣を大切にしている ・作成した場合は、職員が全員閲覧し押印するシステムにしている 	